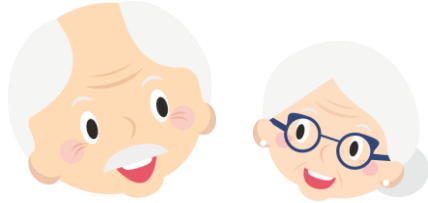


移動実態や市民ニーズ把握のための調査概要

調査の対象・全体像



65歳以上の高齢者
(自家用車での移動が困難になる世代)



市内高校に通う高校生



路線バスの利用者



公共交通事業者

公共交通の利用が期待される世代

① 市民移動実態調査 : 市民の日常的な移動の実態を把握するための調査

≫ 市民アンケート (65歳以上の高齢者)

≫ 高校生アンケート (岱志高校、有明高校、荒尾支援学校ほか)

≫ 民生委員アンケート (地域の交通弱者の移動状況) ※今後民生委員に依頼予定

大牟田市への移動実態のほか、
玉名市、南関町、長洲町との行き来
の状況も分析

② 公共交通利用実態調査 : 路線バスの利用実態を把握するための調査

≫ 産交バス(株)路線全便乗込みによる利用実態調査

③ 交通事業者の意向等の調査 : 運行上の課題などを把握するための調査

①市民移動実態調査

▶住民アンケートによる地域別の移動実態把握（1,500票郵送配付）

- 高齢化と人口減少に伴い、特に高齢者の移動手段の確保が重要なテーマ
- 住宅の立地状況、公共交通利便性等の特性が地域によって異なるため、**市内12地区ごとの分析**を行えるよう、**計1,500名を調査対象として抽出**する

項目	設定内容
対象者	65歳以上の高齢者 ※住民基本台帳からの抽出
配布・回収方法	郵送配付・郵送回収
対象者数	1,500人

多くの方にご回答いただけるよう、各地区においても呼びかけにご協力をお願いします。

▶高校生アンケートの実施

- 市内に立地する**岱志高校、有明高校の全生徒**を実施し、「居住地」「通学時の交通手段（晴天時・雨天時）」「通学所要時間」「公共交通に対するニーズ」などを把握する（玉名市内の高校においても実施するほか、荒尾支援学校については教諭へのヒアリング調査を実施予定）
- 高校生の移動実態を把握した上で、既存の公共交通網が通学需要に対応しているかを分析する
- 大牟田市で行われる同様の調査の結果も共有し、近隣市町間の通学需要についても分析する

▶民生委員アンケートの実施

- 地域における交通弱者の移動実態や課題について地区ごとの詳細な状況を把握するため、民生委員へのアンケート調査を実施し、**各地区における移動困難者の状況やニーズについて把握**する

②公共交通利用実態調査

▶ 全便乗込み調査による詳細な利用実態把握

- 産交バス(株)路線ではICカードが導入されているが、利用はあまり定着していない
- 産交バス(株)の**市内運行路線、全路線全便を対象に利用状況の調査**を実施し、乗降場所や利用頻度、利用目的等の利用実態を把握する
- 西鉄バス大牟田(株)運行路線は、大牟田市での調査内容と連携し、ICカードデータからの分析等により利用実態を把握

▶ 現地点検によるバス停カルテ作成

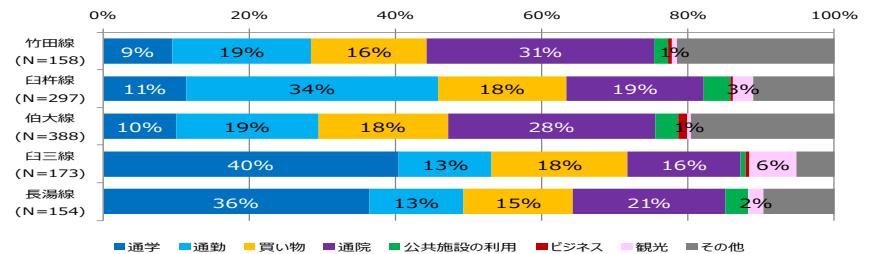
- 市内約250箇所（上下方向計）のバス停について、目視による点検を行い、**全バス停のカルテを作成**
- ベンチや上屋の設置状況、管理者、老朽化状況について位置情報を付け、カルテ及び地図上で管理する
→利用状況も踏まえ、今後の環境整備方針を検討

③交通事業者の意向等の調査

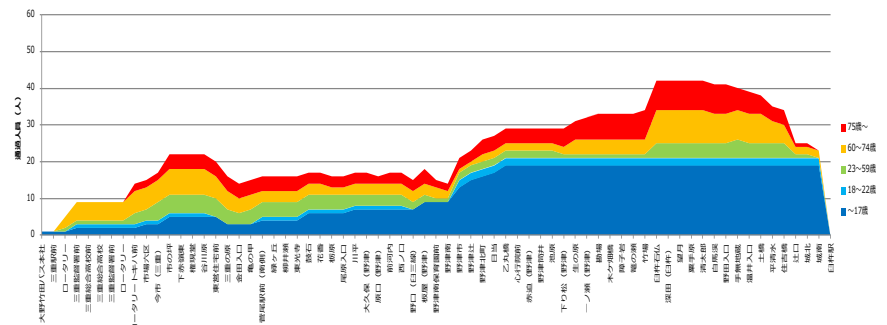
▶ 交通事業者アンケート・ヒアリングによる意向把握

- 市内を運行するバス事業者や市内のタクシー事業者に対し、運行上の課題（運転手不足の状況や車両の状況など）や営業上の課題（運賃収入の状況や補助金の制度上の課題など）などを個別にアンケート・ヒアリングを行うことで、持続可能でバランスの取れた公共交通体系の構築について検討する

分析例：利用者像（年代、職業、目的）



分析例：利用区間・バス停別乗降者数



分析例：需要に応じた運行水準の選択

<p>乗合バス事業者によるバスの運行。主に基幹路線の運行形態。</p>  <p>運行形態：定時定路線 運行日：毎日運行 許可：4条許可（一般乗合） 車両：事業用車両</p>	<p>乗合バス・タクシー事業者による運行。主に枝線の運行形態。</p>  <p>運行形態：定時定路線 運行日：曜日運行 許可：4条許可（一般乗合）または79条許可（市町村有償） 車両：事業用車両または自家用車両</p>	<p>乗合バス・タクシー事業者による運行。一定のエリアをカバーする運行形態。</p>  <p>運行形態：デマンド運行（不定期区域運行） 運行日：曜日運行 許可：4条許可（乗合） 車両：事業用車両</p>
---	--	--



公共交通に関する課題の整理

》地域の問題・課題を分析

- 地域としての問題点と、その中で、公共交通が抱える問題点を段階的に整理

分析の視点	分析内容
交通弱者	公共交通利用のターゲットとなる交通弱者の分布や推移は？
公共交通需要	需要の将来的な推移は？ 高齢化の進行とともにニーズが変化していないか？
財政負担	市全体の予算の中で、移動サービスに対する財政負担の状況は？公共交通だけでなく、移動支援に関する全体的な施策の状況は？

目標を達成するための施策・事業

》ハード面からソフト面に至る施策・事業検討

- 公共交通路線の再編等のハード的対策から、利用促進等のソフト面での対策まで網羅的に検討

事業項目	事業内容
路線網	鉄道、路線バス、タクシー等によるバランスのとれた公共交通路線網の構築
路線・ダイヤ	主に路線バスの路線再編、生活行動に合った運行ダイヤへの改善（観光客のニーズも踏まえる）
バス停	拠点施設への乗入れ、バス停の新設・移転等
待合環境	拠点施設における待合環境の改善等
運賃体系	運行経費に見合った運賃の適正化、観光周遊目的での企画運賃設定等
利用促進	路線図の更新、時刻表の作成、外国語対応、運転免許返納支援策導入等

》計画策定以降のアクションを意識した事業立案

- 計画を策定することは「出発点」であるため、計画検討と並行して次年度以降に取り組む施策・事業の検討を進める
- 特に、計画策定直後に申請することができる国庫補助を活用しながら効率的に事業を実施する